

超重症児の手術件数

項目の解説

「超重症児」とは食事機能、呼吸機能、消化器症状の有無などの項目により、より高度でより濃密な医学的管理を必要とされた小児のことです。超重症児を手術するには通常の小児の手術に比べ、より高度な医療技術と患者管理が必要となります。小児科外科や麻酔科の医療の質の高さを表す指標です。

当院の値(単位・調査期間)

21年度 0件(半年) ※

20年度 0件(年間)

19年度 0件(年間)

算式

実数

定義

「A212-1-1 超重症児入院診療加算」算定件数